

50th Anniversary

稲沢ロータリークラブ週報

承認日:昭和38年(1963年)12月6日 会長:岡田義夫/副会長:三輪卓生 例会日:毎週水曜日 12:30~13:30 幹事:永井伸治/編集:広報会報委員会

例会場:尾張大國霊神社(国府宮) E-mail rcinazawa@gmail.com 稲沢市国府宮一丁目1番1号 URL http://www.inazawa-rc.org/

事務所: 〒492-8213 稲沢市高御堂 1-2-1 (林商事ビル1階)

電 話:0587-24-0740 FAX:0587-22-7213 事務局携帯電話 090-4853-5262





2013-2014 R I 会長 ロンD・バートン

稲沢 RC2013~2014 年度会長方針 社会を光り輝かせる人となろう!

本日の例会プログラム 第2469回例会 4月23日(水)例会場:尾張大國霊神社 卓話:稲沢市役所秘書広報課 グループリーダー 渡辺峰生 様 主查 大平光生 様 テーマ「稲沢広報誌あれこれ」 紹介者: 広報会報委員長 川合正剛 IAC 例会 17:00

第 2468 回例会報告 4 月 16 日(水) 晴れ No.39

☆点	鐘 ☆	会長 岡田義夫
☆司	会☆	会場委員長 三根健一
☆ 唱	和☆	それでこそロータリー
☆ビジタ	- ☆	
A	I /// A	A =

☆会長挨拶☆ 会長 岡田義夫



初夏と言うより夏を思わせる様 な陽気となりました。皆様には例 会にお出かけ前に洋服選びにさぞ お迷いになった事と御察し致しま す。さて、本日の例会は先に開催 されました地区協議会を受けての

クラブアッセンブリーです。いよいよ来年度が具体的 に動き出したという処でしょうか。

最近では、事務局に届くメールはその殆んどが次年 度宛のものばかりで、2013~14年度も最終段階に入っ た事を実感する今日この頃です。私は会長として残す ところ 75 日程でお役御免となります。内心その日が 待ちどおしい思いで一杯ですが、永井幹事は諸般の事 情に依り次年度も幹事代理としてクラブ運営に関わ って頂かなければならない事となりました。従って私 だけが浮かれているわけにも行かず、心掛けとして は、幹事共々誠心誠意の気持ちで日々全うし、次年度 ヘスムーズに引き継ぎの出来るよう今一度気持ちを引 き締めなければと思います。

~Today's Information~ ◆◆報告事項◆◆ ◇◇幹 事 報 告◇◇ 報告者:幹事 永井伸治

◆第3回準備理事会・第2回準備委員長会議

日時:4月24日(木)18:00より 場所:レストラン ヴィトラ ナゴヤ

名古屋市千種区御棚町3丁目26番(覚王山ル・ア

ンジェ教会内)

☎052−759−5511

登録料:10,000円

新年度クラブ計画書の委員会事業計画を提出されてい ない次年度各委員長は、当日ご持参願います。

◇ ◇ ニ コ ボ ッ ク ス 報 告 ◇ ◇ 報告者:ニコボックス委員長 山田典永

永井 西尾張ロータリー美術展に母が木目込人形、息子 が写真を出展しました。お世話になりました

鵜飼(正) 第 15 回西尾張 RC 美術展、皆様のご協力で 今年も無事終えることができました。ありが とうございました

岡田 山脇さん先日はありがとうございました

永井 山脇様おめでとうございます。林様、岡田会長、 西村エレクト、ありがとうございました

★出席報告★ 報告者:会員組織委員長 小島洋一

会員	総数	55	名		前人	一回信	多正	4 月	2	日
出	席	33	名		出		席	45	名	
会 員	数数	(内免除者	5	名)	会	員	数	(内免除者	8	名)
欠席者数		22 名			メークアッフ゜数		。 米 /-	1 名		
久 佈	有 奴	(内免除者	10	名)	メーク) ") /	奴	1	70	
出席	5 率	73. 33 %			修工	E出席	常率	93.88 %		

☆例会臨時変更通知☆

クラブ名	月/日(曜日)時間	メークアップ会場
あま	6/2(月)	休会 (定款 6-1)
名古屋東	6/2(月)	休会 (定款 6-1)
名古屋清須	6/10(火)	休会 (定款 6-1)
名古屋清須	6/17(火)12:30	名古屋マリオットアソシアホテル

今週のメークアップ

池田邦雄(名古屋空港)

☆ 例 会 日 程 ☆

4月30日(水)12:30	5月7日(水)12:30	5月14日(水)12:30	5月18日(日)
卓話:稲沢警察署署長 鈴木努 様 テーマ「安心して暮らせる街づ くり」紹介者:ニコボックス委員長 山	幸福例会・会員表彰	卓話: ロータリー財団 資金管理委員会委員長 櫻井繁 様 テーマ未定(財団の補助金関係)	春の家族会 「近江八幡水郷巡りと招福楼
田典永 50 周年記念事業実行委員会総務 委員会(13:30)	第11回理事会(13:30)	紹介者:社会奉仕委員長 服部孝徳	のお料理を楽しむ」

林 岡田君、西村君、永井君にご無理をお願いし

山脇 林さん、岡田さん、西村さん、永井さん(順不同) ありがとうございました

西村 地区研修・協議会、皆様ご苦労様でした。又、山名 さんお世話になりました

塚本 山脇様お世話をかけました

山脇 塚本さんありがとう御座いました

小島 例会欠席のお詫び

伊藤(彰)、鵜飼(正) 業務多忙 早退のお詫び

◇ ◇ 地 区 研 修 ・ 協 議 会 報 告 ◇ ◇
国際ロータリー第 2760 地区

2004-15 年度のための地区研修・協議会 報告

報告者:次期幹事代理 永井伸治

開催日時:2014年4月13日(日) 13:00~17:00

開催場所:ウェスティンナゴヤキャッスル

ホストクラブ: 尾張旭ロータリークラブ

本会議での田中ガバナーの挨拶の中で、「長い歴史を刻んだロータリーの輝きに陰りが出ていたのは、その活動のマンネリ化が原因で、魅力ある活動を展開するためには会員一人ひとりが研修を積んで真のロータリアンになって欲しい。その思いで今年度から『研修・協議会』と名付けることとした。」との説明を受けました。

近藤ガバナーエレクトからは、次期 RI 会長ゲイリーC. K. ホァン氏(台湾)の挨拶文を引用し、「①ロータリーをいかに楽しむか?②あなたのロータリーへの入会のきっかけは何か?③家族もロータリーに参加しているか?を改めて確認し、地域社会でロータリーの存在感を高め、会員増強をしてほしい。」そして、「なぜできないかの理由を探すのではなく、できるためにどうしたらいいのか?を模索してほしい。」との所信を述べられました。また、元々ロータリーの原則であった①出席義務と②一業種一人の会員制が不易であることの思いを述べられ、今一度、会員全員が熱くなり、ロータリーに輝きを与えることを協調されました。そして、本年度は地区内83クラブのすべてを公式訪問されることを表明されました。

当クラブの出席義務者 15 名全員出席(酒井次期幹事の代理で永井が出席)でした。

第1分科会報告(クラブ管理部門)

テーマ:ロータリーに輝きを

報告者:次期幹事代理 永井伸治

他第1分科会出席者: 次期会長 西村郁夫 次期副会長 樋田克史



次期会計・地区研修委員 山名敬一田中正規ガバナーは、「人・モノ・金」を動かすことのできる次期のクラブ管理者であるコア会員に対し、入会時に誰もが思った「ロータリアンになる覚悟」を思い出し、お互いを尊重する旨の挨拶をされました。

江崎柳節パストガバナーは、「会員増強の必要性を唱えられました。奉仕とは、世のため、ひとのため、そして自分のために行うことであり、親睦とは、単に集まって飲食を共にすることではなく、"Fellowship"である。仲間同士

で意識を高めて良いことをすることである。」と言われ、 長い歴史を刻んだロータリーのポピュリズムの危険性 を訴えながら「ロータリー殺すに刃物はいらぬ、例年通 りやればよい。」と皮肉を交えてマンネリ化への警鐘を 鳴らされました。

加藤陽一ガバナーノミニーは、ロータリーの高齢化を危惧し、パスト会長も活発に活動していただくよう依頼され、2世3世の会員や女性会員の増強を協調されました。成田洋之次期研修委員長は、本会が本年度から「地区研修・協議会」となったことを挙げ、「単クラブでも研修会、新会員セミナー、研究会、あらゆる場面で研修を行って欲しい。研修方法はRLI方式が効果が高い。テーマは何でもよいが、少人数の『コ』の字型に配席し、ディスカッションリーダーを置いて進める。研修を深めると連携と親睦も深まる。」と説明されました。

第2分科会報告(クラブ運営部門)

テーマ:会員増強がクラブ活性化の命

「楽しくなければロータリーではない」

報告者:次期副幹事 服部孝徳

他第2分科会出席者:次期クラブ奉仕委員長 池田 邦雄 次期会長エレクト 浅井 耕治



次期会員組織委員長 樋田 文裕 まず、挨拶とロータリーの在り方 や考え方、或いは重要課題を4名の パストガバナーの方々が発表され た後、野杁次期ガバナー補佐が事前 に各クラブより提出されたアンケ ートへの回答と「ロータリーデー」 の開催などの告知がありました。そ

して、石川勝彦次期会員増強委員長よりテーマの説明がなされましたが、最終的にテーマが修正され「クラブの活性化があれば会員増強ができる」になりました。2760地区の数的な目標としては、5千人を目指すことになりますが、やはり退会者を出さないクラブ運営が今後の課題になると考えられます。

第3分科会報告(職業奉仕・広報部門)

テーマ:公共イメージと認知度の向上を図る広報活動と 職業奉仕の理念について

報告者:次期広報会報委員長 三根健一

他第3分科会出席者:次期職業奉仕委員長 原 武史



地区副幹事の挨拶に始まり、途中 ガバナーのお言葉を頂き、職業奉仕 とは?から始まる、本年度のプログ ラム説明、公共イメージと認知度の 向上を図る広報活動について、ロー タリーの友の活用について、など沢 山の協議がなされました。

職業奉仕とは、自分を成長させるプログラムであり、 社会奉仕とは、自分以外を成長させるプログラムであり、その違いなどを説明して頂き、4 つのテストは、職業奉仕として捉えるならば、日々の反省に使えばよい、 とご教授いただきました。 広報については、昨年度執り行われた、WFF(ワールド、フード+ふれ愛フェスタ)の実施を、各メディアへの最大且つ有効な広報活動と捉え、昨年度対倍増の動員を目指して、取り組むこととするとの事。

購読の購はされているが、読がされていないと思われる、ロータリーの友の活用方法なども紹介されました。また、地区ガバナーホームページもデザイン、中身共に使いやすく、リンクなど登録頂けるようにいたしました、スマホも大変見やすくなりましたので是非一度ご覧下さいませ。

などの協議研修がなされ大変勉強になりました。 特に、広報委員長におかれましては、持ち時間を大幅に超 えて WFF に対する思い入れをお話され、他の人の発表が、 まるで3分間スピーチのようになってしまったと言う落 ちもありました。

第4分科会報告(社会奉仕関連部門)

テーマ:奉仕こそロータリーの原点である、自然で豊かな国を!

報告者:次期社会奉仕委員長 山脇敏夫



次期地区馬場副幹事の進行のもとに会が進められ次期鈴村社会奉仕委員長が社会奉仕はロータリアン一人ひとりが「超我の奉仕」を実証する機会である。地域に住む人々の生活の質を高め、公共のために奉仕することは、すべてのロータリアン個人にとっ

ても、またロータリークラブにとっても献身に値すること であり社会的責務である。

R. I はロータリークラブの連合体として社会奉仕のニーズや活動を伝え、広め、かつロータリーの綱領を推進し参加を望むロータリアンやロータリークラブ、地区の力を結集すれば役立つと思われるプログラムやプロジェクトを適宜提案する責務を負っている。

とされた。

また、環境保全担当される杉浦アシスタントリーダーは 「水をテーマとしたロータリー社会奉仕活動」を掲げ

- ①地区内クラブに於いてどの様な水」がかかわる環境、社 会奉仕活動がされているかの情報収集
- ②それに関しての愛知県や NPO 、関連機関とどの様なかかわりがあるかを情報として整理してみる。
- ③ロータリークラブ全体の中で水をテーマとした環境事業として、注目されるものがあるか探ってみる。 とされた。

次に、杉田アシスタントリーダーより第2回地区社会奉 仕・RCC・環境保全委員長会議の報告がなされ、

RCC の重要性、人災・防災の卓話の要請、11 月のロータリーデーの参加要請など話された。

最後に、神戸パストガバナーがロータリーの奉仕の観念が 随分と変化してきているのではないか。金を集めて信号機 を贈る事ではなく、交差点で困っている老人・子供に手助 けするのが本来のロータリーの社会奉仕ではないかとの 警鐘をならされた。

第5分科会報告(国際奉仕関連部門)

テーマ:世界の現状を理解し、奉仕のここを出親睦と 平和を!

報告者:次期国際奉仕委員長 小島洋一



冒頭、近藤ガバナーエレクトより、国際奉仕にはその地域が本当に望んでいるかを察知する力が必要であり、お互いをいかに理解しあえるかが大事で、そこから世界に平和をもたらす活動が始まるとの趣旨のご挨拶があった。

引き続き杉浦次期国際奉仕委員長より、ロータリーの創立記念日である2月23日より「国際理解と平和週間」が始まり、それと連動する形で2月は世界理解月間、3月は識字率向上月間に決められている。国際奉仕とは世界社会奉仕活動(WCS)そのものであり、基本は各クラブ単位でのWCS推進が望ましいが、単独で難しい場合は事業資金とともに地区プロジェクトに参画をして欲しい旨のお話があった。

また、今年度の重点事業として、

- ・WFF への参加
- ・ジャパンロータリーデー (11月3日) への参加
- ・地区プロジェクトへの各クラブからの協力要請及び 現地参加要請
 - ・2月、3月卓話の実施
- ・各クラブ単独 WCS の活動報告書の取りまとめ 以上の報告がなされた。

続いて堀江次期国際奉仕副委員長より、識字率についてアフリカ、東南アジアの一部には50%に満たない地域が多くあるとの現状報告があった。また識字率が下がると出生率が上がり、貧困のサイクルに入ってしまう、そして人口爆発に拍車をかける結果になる。従ってポリオの次のRIの課題として識字率の向上がクローズアップされてくるとの認識が示された。

その後、鈴木次期国際奉仕副委員長より最近10年間の地区国際奉仕活動について報告があった。そして最後に牧野次期ガバナー補佐より、日本人のアイデンティティをしっかり持って、現地の視点に立って交流を進めることが大事であるとの講評があり閉会した。

第6分科会報告(青少年奉仕関連部門)

テーマ: ロータリーの公共イメージと青少年ファミリーの認知度向上

報告者:次期青少年奉仕委員長 足立三千夫



次年度のテーマである「ロータリークラブの公共イメージと青少年ファミリーの認知度向上」と題して、まず始めに秋田次期青少年奉仕委員長より、83RCの支援を受けて活動ができていることを意識して欲

しいとの話がありました。次に、8名以内の35卓でグループディスカッションを行い、ロータリーディ(WFF)の取り組み方を中心とした意見交換を行いました。その後、地区 IAC RAC RYLA の次期委員長より次年度の活動

方針が発表され、最後に松本パストガバナーからアドバイ スをいただき会を閉じました。

第7分科会報告(ロータリー財団関連部門) テーマ:ロータリー財団 未来の夢計画

報告者:次期ロータリー財団委員長 川合正剛



檀上に次期ポリオ・プラス委員長 の横井定さんがお見えになり、不安な く研修を受けることができました。内 容的には例年通り基金に関すること が主体でしたが、一方的な会議ではな く対話型式で質疑応答の時間もあり 有意義な分科会でした。

詳細については、5月14日(水)ロータリー財団の櫻井様 より卓話を頂くことになっておりますので、多くの皆様に 出席をしていただきたいと思います。

第8分科会報告(米山奨学関連部門)

テーマ:米山奨学事業は人材育成 米山学友が世界を 日本を繋ぐ

報告者:次期米山記念奨学会委員長 伊藤彰



伊藤敦夫次期地区米山奨学委員 長より米山記念奨学事業とは全国の ロータリアンからの寄付金を財源と して、日本で学ぶ外国人留学生に奨学 金を支給し、支援する国際奨学事業で あり、日本最大の民間奨学事業です。 年間の奨学生採用数 700

人事業費は 13.6 億円 (2012 年度決算) 累計で 1 万 8000 名、世界 121 の国と地域に及びます。内、中国人が全体の 約70%続いて韓国人、台湾人の順です。

米山記念奨学生の同窓会組織が米山学友会で国内 31、海 相撲へのこだわりと角界の事情がよく理解できて、楽し 外6あります。東日本大震災の義援金として国内外の学友 会、個人から約760万円が寄せられました。いづれにして もロータリーの会員増と寄付金の増額の協力を切望され 好クラブの台湾・汐止 RC 陳偉穂会長による来賓挨拶に ました。

◇◇第4回地区インターアクト委員会報告◇◇ 報告者:地区インターアクト委員会 鵜飼正巳

4月18日(金)午後14時~、愛知啓成高等学校にて、 第4回地区インターアクト委員会が、開催されました、 当日は、岡田義夫会長、足立三千夫新世代奉仕委員長にも、 オブザーバーとして、出席して頂き

第25回 IAC 年次大会進捗状況について、第27回海外派 遣研修の募集

進捗状況、海外派遣研修事前研修日程等の議題に討議され ました。

その後、午後17時~愛知啓成高等学校 IAC 第96回例会 に地区委員9名

岡田会長、足立委員長と共に出席し、1時間半の有意義な 例会タイムを

啓成インターアクターと、共有できました。

◇あまロータリークラブ創立 45 周年記念式典 出席報告◇ 報告者:幹事 永井伸治

日時:2014年4月19日(日)15:00受付、

15:30~16:45 式典、 17:10~19:00 祝宴 場所: 名鉄グランドホテル

出席者:岡田義夫会長(式典のみ)、三輪卓生副会長(祝 宴のみ)、永井伸治幹事

式典に先立ち、栗本裕子会員ご令嬢、栗本沙希さんに よる口上で、あまロータリークラブの創立から今日に至 るクラブの歴史が披露され、高山敏会長による点鐘で式 典へと導入されました。高山会長は、「あま RC 創立の年 は、アポロ 11 号でアームストロング船長が史上初めて 月面に降り立ち星条旗を立てた年であります。世界中の 人間が注目したそのような世相の中、当時の近藤友右衛 門パストガバナーが津島 RC への公式訪問の際、ご挨拶 された『ロータリーの基本は職業奉仕であり、良い友達 を持つ機会を与えてくれるのがロータリーである。』と お話しされたことを、大竹和美初代会長がそのお言葉通 り実践されたのが、あまロータリークラブの原点であ る。」と挨拶されました。

記念事業は、R 財団と米山奨学基金にそれぞれ 20 万円 ずつの寄付をなされ、小島三男ガバナー補佐が受け取ら れました。

クラブ回顧として、5名のチャーターメンバーが紹介 され、「あま RC45 周年の歴史」を映像と音楽で披露され ました。その後、「相撲談義」として、玉ノ井親方(元 大関栃東関)と田中清隆会員の対談を拝聴する時間が設 けられました。これまでに経験のない設えではありまし たが、あま RC 様チャーターメンバーである田中会員の い時間を過ごさせていただきました。

式典後の祝宴では、豊島徳三パストガバナーと国際友 始まり、神戸政治パストガバナーによる乾杯の発声によ り宴が開きました。

来賓、分区内友好クラブ 24 名、国際友好クラブ 台 湾・汐止 RC 会員家族 28 名、元青少年交換留学生 1 名、 あま RC 会員家族を含め、約 130 名の出席で盛大に挙行 されました







